



Vol.10 | 令和5年
2023 | 2月号



ちゅりっぷ通信
笑顔を咲かせよう♪

最新の福祉用具を展示。
「福祉用具センター ショールーム」がオープン！

みなとみらいを望み、明るい採光と吹き抜けが自慢のショールーム。12年前3名の職員でスタートした事業は、40数名のチームに成長しました。

福祉用具専門相談員がご案内いたします。

福祉用具を見て触れて体感できるショールームと介護用リフトの研修会などができるスペースを備えた「福祉用具センター ショールーム」が、昨年11月1日に桜木町の社会福祉法人横浜市福祉サービス協会本部ビル1、2階にオープンしました。介護や福祉の関係者だけでなく、地域に開かれ、誰でも気軽に利用できる「ショールーム」であることが大きな特徴です。

明るく開放的な吹き抜けの1階と2階には、さまざまなメーカーの最新の電動ベッドや車いすなどの福祉用具が数多く展示されているため、比較検討がしやすく、介護の現場を知る福祉用具専門相談員のアドバイスを受けながら、安全に体験することができます。

今回はこの「福祉用具センター ショールーム」で、利用を希望する人へのアドバイスや相談にあたる福祉用具専門相談員のみなさんに、「福祉用具貸与」、「福祉用具販売」、「住宅改修」についてお話を伺いました。



お客さまやケアマネジャーからの相談に迅速に対応しています。

福祉用具専門相談員は何をするひと？

福祉用具専門相談員はお客様が自立した在宅生活を送るための住環境整備のお手伝いをします。基本的にはケアプランに応じた「福祉用具のレンタル」が中心ですが、そのほかに「福祉用具の販売」「住宅改修」をおこなっています。

福祉用具専門相談員は、お客様の身体状況と住環境を併せて確認し、福祉用具の利用について、レンタルがよいのか、販売がよいのか、住宅改修工事がよいのかを検討し、ご希望に合った提案をします。

下記のような商品を介護保険を利用して借りられます。

● ベッド



起き上がりが楽に

● 車いす



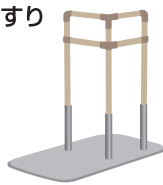
自分でいきたいところに

● 歩行器



トイレにも自分で行けるように

● 手すり



立ち上がりが楽に



(上) 介護用リフトを使うと移乗が楽になります。

(下) 電動車いす「WHILL」も介護保険でレンタルできます。

福祉用具貸与（レンタル）

体の変化に応じた用具を常に利用できます。

福祉用具は高価なものが多く、一度購入してしまうと体の状態の変化が生じた場合に買い替えることが大変ですが、レンタルではすぐに取り換えることができます。

その中でも介護用ベッドは、約20種類あり、機能やデザインもさまざまです。そして、併せて使用するマットレスは約30種類あります。

体の動けるうちは一般的なものでよいですが、体調の変化や筋力が弱くなることで、横になる時間や座る時間が長くなると、床ずれ（褥瘡）^{じよくそう}ができやすくなります。その予防には、状態の変化に早く気づき、適切な介護ベッド（起き上がりがやすい、立ち上がりがやすいなど）と褥瘡予防マットレス（静止型マットレス、エアマットレスなど）を併せて使用することが大切です。

車いすも、体の状態に合わせた座り心地や座ったときの姿勢を調整できる機能を持つものや、クッションの種類も豊富になっています。そして、パンクしないタイヤが主流となり、操作性やメンテナンス性が向上しています。最新の電動車いすは軽い力で操作することができ、5cmの段差も乗り越えることが可能です。（シヨールームで試乗ができます。）

レンタルできる福祉用具は、選定、設置、調整、整備からアフターフォロー、引き取りまで行っており、介護ベッドや車いす以外に手すりなどもたくさんあります。おからだの状態に変化が生じたときや、使い心地



かのうたかひろ
福祉用具専門相談員/加納崇裕さん

福祉用具購入

カラフルでおしゃれな商品がたくさん登場。

お客様が購入することになる福祉用具は、トイレや入浴補助用具などの衛生的に使い回しがふさわしくないものを中心です。

最近の福祉用具は、ひとむかし前とは違いデザイン性や機能性の高いものが増え、インテリアや好みに合った商品を選ぶことができるようになりました。

入浴時に使用するシャワーチェアや手すりなどは、浴室内が湯気で見えづらくなるため、識別しやすい色を選ぶことも大切です。

高齢者用の靴は、一般のものとは違ったさまざまな工夫がされ、おしゃれなものが増えています。試し履きもでき、片足ずつサイズ違いで購入できる商品も増えています。

商品カタログ「福祉用具便利帖」には、購入できる商品がたくさん掲載されています。ご覧いただいて、気に入った商品や気になる商品があれば、ご連絡ください。商品が入り次第、お届けいたします。

※シャワーチェアなどの入浴補助用具やポータブルトイレなどは、介護保険で購入ができます。詳しくは福祉用具センターにお問い合わせください。



むらたしゅういち
福祉用具専門相談員/村田周一さん

下記のような商品を介護保険を利用して購入できます。

●ポータブルトイレ



ベッドのそばにあれば
夜でもあんしん

●シャワーチェア



膝をかがめなくて
良くなった

●シャワーキャリー (入浴用車いす)



ベッドから浴室や
トイレまで行けます

住宅改修

住み慣れた自宅をより快適にリフォーム。

住宅改修は介護保険でできる住宅のリフォームで、上限20万円の工事です。対象の工事は、介護に関する部分のみです。個人宅だけではなく、賃貸住宅でも大家さんの承諾があれば工事が可能です。不可能な場合は、レンタル品での対応を検討します。



しあすたけし
福祉用具専門相談員/清水剛さん

私たちは、年間600件以上の工事に携わっています。業者任せの工事にはせず、自分で直接お客さまのニーズをお聞きし、図面を描き、提案し、よりよい工事になるよう、責任をもって向き合っています。役所への諸手続きも行っています。

まずは担当ケアマネジャーや福祉用具専門相談員にご相談ください。

住宅改修 (20万円が限度です。事前申請が必要です。)

下記7項目が住宅改修工事として認められています。

- 改修① 手すりの取り付け
- 改修② 段差や傾斜の解消
- 改修③ 滑り止め床材の変更
- 改修④ 引き戸への取替え・新設、扉の撤去
- 改修⑤ 洋式便座への取替え
- 改修⑥ 転落防止柵の設置※
- 改修⑦ 上記改修に付属する工事



※段差や傾斜の解消に付帯する工事としてのみ認められます。

※介護保険制度のご案内は2022年8月現在の情報に基づいて記載しています。制度の追加改正等があった場合は実際と異なる可能性があります。

横浜市福祉サービス協会 福祉用具センターショールーム
営業時間：月～土曜日 午前10時～午後4時まで
(土曜日はご予約の方のみ)

休業日：日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

所在地：〒22000021 横浜市西区桜木町6-31-1階

☎045-227-6665 FAX 045-557-6664

JR桜木町駅北改札(西口)より徒歩12分、京急戸部駅より徒歩10分、みなとみらい駅出口・グランモール口より徒歩10分、市営地下鉄高島町駅出口・エレベーターありより徒歩5分。
お気軽にお問い合わせください。

Column

明治維新以降の横浜をつくったとされる人物。その名が残る高島町。

高島嘉右衛門(かえもん)という人物をご存じですか。そう、

易占いの高島易断の創始者です。聞いたことがないという人でも西区の高島町という町名や駅名はご存じのはず。協会本部のある町名は桜木町ですが、その隣の町の名です。町名に名を残すほどの人ですから、偉人ということは想像がつきますが、その業績は驚くほどのものでした。易占いの達人であった彼は日本の将来を予見し、新橋ー横浜間の鉄道建設を考え、個人の事業としてやり遂げようとしたのです。のちに明治政府に事業の権利を譲ってしまいましたが、鉄道敷設のため横浜の埋め立て事業は一手に引き受け実現しました。その後、横浜にガス灯事業を興し、馬車道に日本で初めてのガス灯道路を実現します。銀座にガス灯がとる5年前のことでした。さらに今の紅葉坂あたりに学校を創設し、のち手放しましたが、存続していれば慶應義塾大学に匹敵する大学になったろうと言われている。私利私欲と無縁で横浜の発展を望んだ高島嘉右衛門。高島町あたりを訪れるときは、彼の業績に思いをはせてみたいものです。



高島駅出口から高島一帯をのぞむ。

福祉用具 センター所長の インタビュー

多くの人の期待に応える福祉用具センター ショールームをめざして。

昨年11月1日にショールームをオープンしてからまだ4か月ですが、多くの介護・医療の関係者や、実際にお使いになるお客さまがご家族やケアマネジャーと一緒に来られています。

福祉用具は、在宅生活を過ごされる上で生活の質を左右する大事な存在です。

私ども福祉用具専門相談員は、そのお客さまにとって、「どの商品が本当によいのか。使いやすいのか。」を常に考えながらご案内しています。ショールームには、介護ベッドやマットレスなどの大きな商品はもちろん、最新の車いすや歩行器なども常時展示しておりますので、お客さまにはご自宅で使う前に操作性や、寝心地、座り心地などを体験していただけます。

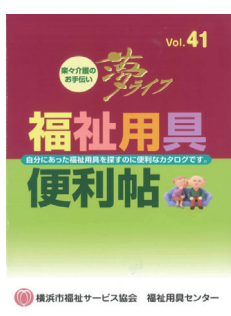
また、特殊な介護用リフトが整備してある研修スペースでは、介護される方を「抱え上げない・持ち上げない・引きずらない」を基本としたノーリ



さくまい さお
福祉用具センター所長/佐久間勲さん

フティングケアの技術を学び、介護で腰痛を起す人が一人でも減らせるように、また介護の現場をよりよいものにしていくために、ご家族さまをはじめ多くの方に活用していただきたいと思います。

福祉用具は日進月歩で、さまざまな商品が開発され続けています。私たちの商品カタログ「福祉用具レンタルカタログ」と「福祉用具便利帖」では、たくさんの方の用具を取り扱っており、最新のものを案内できるよう冊子の更新をしていますので、たくさんの方の中から選ぶことを楽しみながら、ご利用いただきたいと思います。



3月に「福祉用具便利帖」と「福祉用具レンタルカタログ」の最新版を発行します。ご希望がありましたら、福祉用具センターまでご連絡ください。

介護者のための相談電話

介護に疲れたとき…ほっとライン

介護に疲れて行き詰まったり、不安になったりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

☎045-227-1718

「お客様相談室」をご利用ください

「お客様相談室」では、事業やサービスについてのご意見やご要望をお受けしています。まずはお気軽にお電話ください。

☎0120-701-782 FAX 045-227-1721

※受け付けは年末年始および祝日を除く月曜～金曜の8:45～12:00 / 13:00～17:15まで。ご相談の秘密は厳守いたします。

協会の理念

- お客さまの満足
- 人を大切にし共に育ちあう協会風土
- 公正で透明感のある協会倫理

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

〒220-0021 横浜市西区桜木町6丁目31番地 6階



☎045-227-1700 FAX 045-227-1701

HP <http://www.hama-wel.or.jp/>



ホームページ



古紙リサイクル率70%再生紙を使用